狭衣 巻第二 下

共八

WA 7
164

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164

ガラス使用

WA7
164

45.3.20
821506

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164

ガラス使用

狭衣巻第二之下

七月も色ぬるまはひめこやはんよりわかふいきとまわ
ぬるをくちおしうもほしとおほせやきるにあ所
りきよややうくほは屋まりし城ていはいかうに
ちうりやこなりまそ乃名のうしなめこさを乃こおほ
をに大宮乃これほうふやのかとはこよなうち後し
きさはよならせたまへまつまはは日比よ後ほみ思ひ
くしたりほるへとも打屋にこそんゆ所ひしたる
夕暮は程にたくなりなうきこいらを竹ぬるをけよ
見えてまほらん空おりし孫んしきるにあうりやこ
かるしういこしきま姫宮はさらにをくまこそまほ
らしとおりしまとへ所をる心にかれり無事なわ

それ内にもきりを結てひとよわさまに海いわ結て
何まうこの家たちおりし海をはむつましう屋んあと
なれかたには思ひやるさせ結へ海を何りわ乃程の
法ちりひにもあらてかくわりきさせ結ぬるをいり
てりハよ何しくもおれしめさまんひめ宮さへと海
しを結へうもおはし海はしるなをいや心くるし
くてひとわ乃御あとをのゝやハおれしめさ海へ
きい海いくいくも侍ましきを今一とこんともおほ
さぬまやおさなきへゝ乃とまわて侍らんも物も結
ともにこう法説しあれりわめと也こうし兄宇
えさせ結てなく法めやせとてさるへ義へゝなと
なるせ所へまと我ゆへつ井にかく成結ひぬ事にか

たはまてもなりらんてひとわ海とひ所ふらんたる乃
行急もしらさらんハいうしうかなしの程へ義を
おれしこう海まと答まうきにふくたる法男にや煙
乃雲と成所にもつ井に立をくれ結て七日ノくる乃
たてしこにをやうくなわぬ法とふらひに大ねの
まい里結へるに中納言乃まをこいめんしてりれみ
孫の若松と何里しひとわるす成かさを出たるに法
ぬかハいうしうあらく成てあさましういうしとお
れしこわなといまのてんうく法を結ハさわつらん
をの法ろう何るに法をてもくしなハ兄所へらん物
をうくなんとさうましりハいとかくよう乃物には
なしこそまほらさう海しやいと忘りまロおしし雲

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

うらもすこし気と思ふ人あらはかうなりしもさわ
ともしんまりやとさすれしくはいきのしるさにの所りは
はをめれとたちなとはきはくとかしをわても時
乃まの清い乃ちをたすけをわて見をうん覚ふし海
語ひなおこうまてこひくかくなんと問へそうし
てそれかるかまわあるんは余乃ゆと我をちにやり
しうさう思ひやまてうれほいをたりへんも段乃
世乃たゆいくとおりし成て此家の御をちのよ河
のそうつに拝ゆ世事あまはうけ殆りわ殆てそれ
さかうともしてうゆ打ならし所へるを字人々なお
あひたるさ海大宮乃う勢所へましよわもなりくく
んあはさうしうしけやめ乃とたちのかしそ

まはわてもこいらうにたるおりし海はいとさうし
うひつきとはくしうなお出てうら我見るはたく乃
人こにめもくれ海とふをまして内富なてはく語ひ
たそまはわたるうひあわてうはうわ乃たくひあら
しやみえさせ殆ふをかくしかしをるはなりくむ
なしおさ海にて見るてまり月をさるんにも海さわて
んもおはめるまあへをふしまの語ふさ海なるを物の
いるりわなおそうは乃はんちにもあとりわふうな
しくおかさまて波をし乃こひつくと見にも思う義
やわ所はさわかわ内にもうくなんとさう世殆ふに
ひとへにむなしを字なさせ殆りんにもおとうはあ
かすくちおしくそおはされをるはまとかるいむ

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

かしまぬるもあとりわそうしあはれいかなる
里物をおりしほうんとてもひとへ小世を興おか
しまなおりしなといはけなりうん人の法あわ
さ海に法をてもまう勿残うしつらしとおりしおこ
たるまいあらしりしあれ只いまのも称覚てやれ
かしいのらんまさいとうハうわ思ひなけくも爰に
屋ゝ竹ふらんさ海ておりふらんなとしわ竹りしう
しれとおりひ法くけ称ふ袖もしかなりに成ぬ池
小立ぬるをしのをとるひもれなしんにれかさまて
我りわ思ひしもせし冬乃夜に法りり然を
しのうき称なわともいふも学人なけまハくちれ
しさにりし称覚したる人やあなと心見にちかう

よわてきゝ竹へと書ける人なくてかうしともの風
ふ吹なうさゝそんとさめきせらなくせ
をきけりひをさゝ学まほ愛まり言乃法すもいく
おりしたると法気をも遊のしきをゝ来すくさんす
乃んかとなくれ志なへする人もなくてはむをかり
おかけりな夜をいつまともなりうん法中ふいわ
ならてゑもうなほまよつ称んもいまのさうにいくと
つゝましけまと只かうなりうハ立りへるへなんち
りし称りまいやゝかうさくわ称ふにもなるなもを
くわ風の海よひよやをうをしあけて見称ふ法との
あふらかのかふてもれ見わくへうもなけまとさふ
やとみゆるかゝさ海にほたひちり竹ふかひ乃ひと

うへにやきてわらはへまとそ波りしこけまと
かうせへまへめもなきかといひなりうはなり
井をはけハうわあわしこうめてたうわ今はん
のふかけも今さうにあさたりにやみかけまはりん
とあはまかけまハ何を當れ程にいて竹ぬまとうれ
はなくらの志津をのこ心ふりしまて祥しまはハ
ハはてうつめしてをこかひしはくまれらりし給
源氏の言のは方みもつひよわハとくへ杉きたる
あみしてよをまうらはりわたるゆきみるなるへし
たくすこ給ふまかふわこ度の戸よわみとし竹へ
ハわかきさふひとものきこかけかきいろくの
かわきぬこしぬ義なときよけまてお六人ゆきまる

りしける城ゆるとそとのぬまうこなるわらりへわ
うきへくなと出ぬたるまかこせ此つまとなくれか
こけふそふまのくれしお物をなといふ事ハみまの間
なる人れかしをハふしの山にこうはくらめなといふ
へはこしの志ら山ふこうあめまといふ也はかふは
れ義させまてにやとゆしくれすこれまの時さう
志のかうめにおきたるよわやをうみなわ給へはも
やのきハかるは末丁此もをしあらまそはくまわを
りまくしくてそものりしらのつらふけうくふ
をしりくまそ見出させ給へ三皇大后家の時うこ見
のいろにやつまさせ所へる時にて此此れ枯聖の色
志こはそ此のこくうすくまれくなるにれなし

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

とて御ふゝもなまたをこれハ見たまふ
このめ清くいく世へぬらんこけの氣りふ後
しら雪乃きしのへわ清く硯乃水もいこうこかわけ
ふとみえて筆かきにくさなされたるりしやうなと
しそあまうふおりしけなら孫とふて乃なりきなと
ハいとあてにおりしき清手なわりしとみ所ふかる
いとおしくさふらふめるをやのうこうひてはくち
おしくやとてうちをきたまへハ海いてうこなり熱
やうハあらしとのなまハすまとさわとていとそ
すゑ乃世もなまたのむらんこけ乃氣りしる
まに雪乃きしもたてなそとりく世をしを所へはい
とくるしとおりしなりしもいくなとも無きこえさ

世話たてうちそハこそかゝ世所手はまなと乃うつ
くしけさたくひなし雪の光に朝日さへさしうひて
清かるこちかわさ海けさ屋ふふみえ所へは例乃ん
中ハ志津光りこうまわかし御清くひ乃りはけ鶴
光あまるとわ出あきハうきハなとおとかしなんゝ
しせ清こめこ世話まれきふ清すゝわのふて我とわ
てあわ清る清ふゝ乃りしふてなりひ話やうまそ
楚よさらふこれむふもあらぬこ清くさへすゑ
ものゆき乃きしもたてぬよしうきあし乃ふしの
海もなとうなすさこそ見所ふも我なりしこよなく
見所あ海を何事ふとをよふまそハなりるをる事
なりしらひとさハおとるこやのさせかん先世乃おこ

ぶひ乃程くちおしき中にも心にはうをてうさう
りしつ井にいつ雪おれしたるかしまのうらやましさ
い孫さうまくわあとりわといひなうらうりわ乃す
さんもこよなくさふらふりのうにいくほらんほる
とてきひしを孫ををくさぬらふ人々いつ志たわか
かなる御氣をうれとてわらんは我も打ほく思ふほ
ゝ波ゆもえさふらふまゝやいまゝとをちにゆ
竹へいえるともなくてうちそえておうを竹へい
何なおかほくおれわきやとてひよやわ孫を大納言
の君といふ人たまり勢よりんくらへ侍らんと幾ゝ
きいいてやまをかけなめきいまいてたりくゝ志う
見ぶいい孫りしとてあまくゝとやまを竹ほかう乃ゝひ

とへり内富見なわ竹ふまのゝに心きもを乃ゝくる
きほくいひ志らぬあと乃氣かしまをもひと所の御
めにもしるゝにをしらを中へ竹へとそれかしまを
音ゝにも思ひよほへくもあらほもてあし竹へ里さ
をうにほなうちなるさほにてしんをうんとおかさは
も山乃志けまうさうほへきまもあらほほきと夜に
とのおほさんまもいとうさて思ひ屋わになんち乃
ゝして思ふまのゝにもみゝ達竹りぬまゝに只心ひと
つゝ乃ゝくさけほくつきなくまゝ志ほなるへし志
孫覚れ家乃うき花のほハうさろ方乃物思ひもほさ
里て氣にいゝしを乃ゝ思ひやゝまゝ御ほくいのてう
りわ竹へらんさほをたまけちうまゝ程まて今一たひ

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

思ハさわきりしとおりしほくなるにいかうしく思ひ
うさくいとしくて屋まてそれおかしみおもなすの
き出ぬへくおかさる
うらとまわうこ乃見く津となりれしをせくの
岩波さつ孫てしかれかひなく此かれあとの白なん
をたま見るわきもかなとおかせと知乃問乃語あわ
きをさふも御心に成りを給りほ而せくまわなる
語りてかしかれハまひておりしかくへまるかもあら
孫ハいと口おしくおりしほくけらほこりかれ光
源氏のまゝ成乃うらにしかなきまひ竹ひまんを成ぬ
さへそうらやましくおほされ々ほ
あさ望するほまのともかかやわさつ海ハうこの

むもとうほき見るへくかけの気をかけんひとまて
たまはしほ麻を見竹りんをあほりかへくもおほさぬ
にかまわかまほ語かけさ乃りわれしけさに何ものも
思ひけち竹へきハやあとなるらぬ程の事ハまかい
てかりしけちしにおうハあわしかまほかくとかけ
きといとしなハち乃やうなるんまとひハおりしの
とめてあわほるをこよひハ奥もしらかあるあ
しほてほとめてもいりしかれ見給にかかりし
あてくかまいまし波乃語をいかしなくしとも
らはきおちたるをまる我もいかくなりしうへのふ
かえるほかりるくほとはそれなるらしうみ
とむるおもかけそなまなとうまほをそしあふきハ

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

いかに侍るへ義にかの門普掛りひあくまたるやう
まていとひかしく愛何聞しお心さ海にのゝ侍ましハ
うちしくにも思竹へ分けくを屋くにてなんさわ此
かゝ海掛かせすうけ給わわなれいかてかを海か
にはなとかゝ見み何里なるすもこれりしかゝ字
えさを給ふう地かりかくのゝの給りひふをわま
さへ字思ひ侍ゝされみ通し所りんもあ海ましき
すみれ大将乃侍りしおもしろきかなまて侍り聖
乃侍わこわのこゝにこゝに三宮むりへやゝ侍をてんと
おりしまて秋院乃おりしまし侍るこをいやゝ見
かきうへさせ竹にを大将かれあ里し東めにも志海
をこゝよなくなと里竹へ里し物をさりかあかぬあと

なく何すも見こそいさう里乃まゝれ侍なる人の
侍何わさ海にめまとんの内にもを海かゝ思幾ゝ内
へなるすもなり里し我たまんにかくしこゝにしかゝ
のかれめならぬめうつ志には我なりかもあさまし
をなきけなきんりへをみえをわてさきかわちきわ
あとに先なわ〻海人をも雲乃ようにしてくや
しくかにしやあをくれ思ひこうるゝんの内をこに
夢りわいひ志らせをしてあゝぬへ義此世乃かに
しさは此つまの侍わかりむすこしひまあわて
さやうによれつ〇の道さ海をしてやゝをしらんさし
ちかまたるあさわにこゝにおらてうてまそよめくを
かわまそ心よわかに我も人もけそうしとんきかま

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

もあとりわかんくるしけれとさ乃ミ引ほつまなたら
んも思ひ入しさ海ふはたりひてやとおかしめせ
いあ海へまさ海なとやまこさせ給て入る家りりそせ
まらせ竹ふさの竹を屋りて清ま人乃座まて大井
河も程なく見屋らるふをくら乃山の志のすゝき
もかのうふみえて志かれ祢とおかし心ふかまほく
し給ふおこふひ竹へる清まをは後乃世いたの
りしけなわ院もやうくほんちよ詠しくからを給
てよひあの清ま乃志仏けたひなくおこるひ清とめ
させ給ふ乃ちれよもかならはおなし所よとうて
らひ安えさを竹へ家あるまふのも志けなわ京ふ
い大しやう恩なとちようなわぬまい源氏家い女清

たいし給て屋まて海いわ給へしとあ海を今りしめ
て安山海事ふはあらねと大ね乃清心のうち思ひ
やふへしいまハかうふあういせううへらまて我方
もうき世をおりひたふきぬる日ハもうこわなさ
やうふおかさ海ふはさはうなるまおほくて年
比よ後津ふきうさく思ひ思ひまおらりし清るん中
も屋ゝをは我方も人の御方もいかなるんとん
たまさまさまて志きしまの屋まとふはあらぬと立居
りおかしまひをわ清まとうけても知人ふ変清心
乃内ふれふまもいうきたゝせ竹へ至年比おかし
をまて清るまふれ何あともふれめならんやいつも
乃まりにうをうへてそれ末のためしふもふ海

物あはれなるにかれてくるまで竹しかしの清かる
ちけりひふと思ひいてらまていこしう悪しきにか
うやうき世りとまわをんあとういとくく聞
きやゑやとんぬ御はけまとふりとよわたまこそ
かへるなまほいのまゝにかんをきやゑさをて雲海よ
ましらんも粉んやましかれみをと引あを給てかけ
しかをしりてつそ此御あとハひかを竹りわなつ
りしうハいりてか粉まいらをんとてせちに事わ給
てひわをひきよをて安りへをひとわる里おとして
はさう花をつことうるひすさこそすこしんりへて
元家竹へ事例乃いひ志らはんかうを気なるにかな
りへさ海こもち乃高粉もし給うあいきやうはな

てくも升りはかまひこなのかるんちはるをかく
まみのゝ中納言乃二乃まひしやからんとむつし
かれもちはいさし給へるをんとも寄主あるを於ほ
しめしこわ夕きわたえ海なまり時面立ておわ
くゝ打くらゝわたるうらゝかしを物むつりけま
いいらせ給てみかう志海いまなをあまとはくくゝ
と詠給てきう給うまさにかりしくうりいに面志る
たると思ひ屋にすし竹へる御あり給ひ乃ゑす
なれとか城安あとにめつらしくめてこけまハわり
なんゝなとハおくへも無へたてをめてへてむまぬ
はゝ此比こういこしう物おりしたるかしなかまを物
るすならんなともいひありはへしかくいふ程り

一条院の内の大将まいりたまへりけるを、
まだわかうおはしましけるほどに、
ふるき女房などもやなどもとまりたまへるを、
かくれたまへりけるころ、
かの内の大将のまいりたまへりけるを、
くちおしくなりにけるなどをも、
おぼしわすれたまはぬ、
いとあはれにおぼしめしやりけり。
さきの世の御ちぎりもいとふかくおはしけるにや、
うき事をもおぼしなげきたまへるを、
見たてまつりたまふにも、
いとあはれにおぼしめしやりけり。
よのつねなるわざにはあらでぞ、
さまざまにつけてとぶらひたまひける。
女君は、
さきの世の御ちぎりもことにおぼしたりけるを、
いとかくわすれたまへるもいとつらくて、
ながめたまへるに、
ほととぎすのいとおもしろくなきわたるを、
聞きたまひて、
ほととぎすなきつるかたをながむれば
ただありあけの月ぞのこれる
とひとりごちたまへるを、
侍従の内侍ありあけの月ばかりにまいりたまへるを、
聞きたまひて、
大将殿の御ことづてにて、
ほととぎすなきつるかたをながむれば
ただありあけの月ぞのこれる
とのたまへるを、
いとやうやうなるまでおぼしめしやりけるを、
いとうれしくおぼしけり。
女君、
ほととぎすなきつるかたをながむれば
ただありあけの月ぞのこれる
とのたまへるを、
侍従の内侍

あやたち乃おれしよろぬ何わさ後まそ何のまふ見
をわそめても中くなるん後とひそい屋さうわ
ふこうハあらめたらハさそもあまとはかなられ
れしゆるさぬやうハ世にあらしさわとも法ん中
ともふは思りけまもあ後ふとるのにふまほ法ふ内
くれおれし見るまんかいとくおしうんくるしき
おりしなと思ひあけうまを竹へる城をまかん代よわ
すちあとなわ今後法すく世なわれ今ハ中くく心
屋はくてあをくれ孫こうこ法やましなん乃中ハあ
らしとむ孫あきぬるんちし孫なるらいまため
ていうふあけまをうあらもあふよれかまわこふふ
くこくら乃としこ法わかおりひくこけ法るすちハ

ちなかなるふこうりせ打思ふハまるさ後あとり
いうしなん心中也内乃法差なとふとかふ法らん
するるのあわておれしおとほくふ大屋に法あはを
やさ孫て法ん中ともハいとくちおしけまと法うら
なとあ後よ大屋けをりしめをわとのこ法こめふも
行ノ末とをまめてこうふへなやうにのこうるひ
中々れハとかうたまもおれしさこ世へきのなってさ
たまる竹ぬるを無中ふは思ひかけをあさましき
土中まそいひ今後欲家まそさうの竹乃寄そ升さを
孫ふきなも大ねの法ん乃よれつひひさ後なるまし
りハ欲家欲院世よ施竹てやあらましとう人しれを
おれしをるすこう河乃なん乃ようになわ孫ぬまハ

さらり乃はんにはなにとおかさまましけまとか
うと宮殿ふハたゝなゝはつ井よりいかなるすくせ乃
あはれかかうまのてもめやせ乃はへ来るすせハさ海
くもてもふまけよりしかゝ其に乃中将のやう
ふくもちひしまやまうかんとはらんとわきなかゝ
まれくひとりゑゝをゝまけ殿をわ三月よりわぬ
まハくたわまし大武乃家ハ秋院乃わさゝを殿へ来
るすなといまのひよりへていうかを所母宮をいし
へ乃はけわさ海なとおれし出るに今さへ神乃い
かなにたちそり勢殿りんすハいとくちおしをおか
さまてかけ見るたにあかぬはきさ海をいかおはつ
かさ月日をのはゝ庭ゝさるん覚おれしなけ

き竹へるを院ハいかてかはハとのミうゝめしかに
うゝミやゝさうを殿へるをあとりわふんくるしくて
あまふなゝさらんかまわハいかてかおかはの女
程ふハあし侍らんゆくすゑ乃すを思ふこと口おし
うハなとやゝなくはめさせ殿なゝもいまのいとな
らん京のなとも見なるましなうしとおほせをいい
と思ひかゝうそよわおかはまへ大将ハ内まい
まゝ乃ふあはふ殿たわしふおれしと海里一ふし
あう神乃はゝさ海うましうおほさおしかさ
海あとにはこまわたてはぬまハ女城むをふしめれ
乃かふかけたふまたてぬるそうしと思ひとちむる
いと屋ゝんかゝなるまゝわ思ひあまふおわくハ

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

かとまわ殆りんをもいく思ひ所りんやうんくるし
それは無やうめやうと殆たてさ後へ来人と乃うし後め
たり後ましなをそ何また後いなへまよし抑ませら
まさ後ミのかんまは毎乃後うけんおとに後うくへ
きやうなとおかせ後まとりねてさやう乃るすも
ひかの殆り勢てけまは心りとか来るすかしくふに
成てそかくとあまる人こきて我もくと出たら
まのらんとさはけと後まはおとさうに思ひてなん
さうしなとせたらん人は知んなくなと乃殆ふをか
称ておかせるすなりまを後すとくちおしりかけ
字と見たまいとおもりけに人うちにむけしやれ
かきは後乃何なかちにうへさを所ふ人こはえやう

め殆はさるへし中けりされ家のかねといひ志はそ
は三位中将此比乃後上人の中ゆはれるすにもを
くれて世乃人にも知またる中宮乃後をちの式部に
乃家の後ゆりに此後うくくにも人とりはむつ
ましうなまやうと殆て大将乃後はりさ後をもなつさ
は後おしう思ひやうたるなとりそ無まけて殆は
さりをる霜月乃十余日なれは紅葉もちまたてく山
も見所なく雪うさくらしふり後ゆくもれんおうくそ
いやうく思ふすほりわぬへし吉野河のわたわ舟いと
おしまさ後まてあまるさふらちをけまはのわ所
てこまけりに岩波たりくよをかくれと行はこかまを
いさくとちこめてあさせはふりも無けり屋うまさ

かさしわふ後を見たまふて
　よしれ河あけをしらなんたとわまひわさらぬ
中宮なわすしものをおかしようふるすやあ後
らんいもせ屋まのちのきハ多減すきうたれ御こ
ら後をくむまや御ふ孫もいてゆき屋うれ
　わさかへわこかわの下りむをひけくけもわ
ひさけるよ志の河かれうへハつまなくなと口すさ
みけくうして見なきわわるほかれうこの見
くけもおかし出らまてたゝかたわ乃ふかなふた
ふ思ひいわかさけなるふいまたりおりひてなと
さしむかひたるしあさ後乃物ふかくなといなう氣
けなわしをさしも思ひ志御見きんよなとうやまし

きくさふはおかされをたくいまの見るんちし孫て
波乃ちかなくをまさらりしてつゝ御奥をつなて御
きくとうこふかく詠の竹へ多後見よわりしめ御
すゝかりてりや御達たるうひ多つなと乃世に人
乃多屋てもたゝぬ物ふもあら孫をめつゝしくうつ
くしけ也く後多安水乃上ふいやく光雅みみえ竹ふ
　うき毎乃たよわふゆかんわらつ海乃うこふら
をしへよ詠の志ら波名とひとりうち孫て見人常終
歯生功利天上とおあけ竹へ多ハ四方れ山乃多けた
たもれ支見ゝらんしとうとくいうしきま
三位中將物めてする人まて波を御孫ノヽとそこを
しかまうて御多竹へまハおまへの松山の氣を

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

なまゝ我き竹ひたる志後を御そ乃なつしうき
なし給へるうつまかとよろをきさまてかわりみちた
後をぬ美給て山お後しもいふもあらけ多けなめるに
ふをきき竹へとてなまりしまハもれ覚とて乃ち其氣
よわかり男ふもよをならひ侍ら孫へかゝ後ハ
らをの夜ふりさねさぬらりんもいとうさしけなく
侍るへしとてさらふ手もふまぬなる事城あるを君く
又こいめんするまて乃うさ見ふもし竹へ世をそ
むきなん乃ほいいとふくていとやし此ふ成ぬる
をかこしなと乃何なからなるもふ事物うさわぬ
へまゝ所なとなまをれ御後けなしひ此ふ世ふる
程ふ月日乃ミ通行をさ後へまゝや弟子ふも志

ゐまゝへとやのゝ後ハ此なん此まとこのさひハうち
清をふものさはりしまやうなまゝへよ後ほ之後ハ
こめてなん京ふは物しし給なんやい何まてかくて
ハ此はすへまそなとの竹へハ親乃うさハ今ゐ見竹
面しと思ひ給へてなんのこわれ日ハいまのいく
りくもさふらりしこのかと通してハちくふしまふ
なんまゝ志はしさふらふへまといふもいとり
東なまやうまてまとしてんハなかく年ら後
よりもいとしふ後へけまハさらはたゝいまの志り
まわらりし物しなまへこや乃かとすくしてう
出侍るへまそれふやのゝさきんとうさらひ竹ふさ後
のなつりし此ハまさまうわふ城くしまゝんふ

も無たち居らせいて汚をたまりんにしれみさうの
りさにたつ〇させ竹へとそいぬる名おもむきひ
けたるやうそいとおほ汚のなうのこわ遊のし
ともよれつ〇なまはハ佛にもこの行忍さりにき
のをたまのへ心らすしをしまうたまふしまるしいのら
とう

狭衣巻第二之下終

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狭衣 : 4巻』 請求記号 WA7-164

ガラス使用